

1-6

養護老人ホームでの自立支援を考える

ボランティアサークルの活動を通して

自立支援

生きがい獲得

養護老人ホーム 白寿荘

支援員 福馬 健一

目黒区大橋 2-19-1

生活相談員 川名 正喬

生活相談員 海老沼 達雄

03-3466-0267

hakujusou@almond.ocn.ne.jp

03-3466-6258

http://www17.ocn.ne.jp/~hakuju/index.htm

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

白寿荘は昭和 28 年に開設された目黒区にある養護老人ホームです。入所定員は 168 名。H18 年 10 月の制度変更以降は、施設内に訪問介護ステーションを立ち上げ、要介護状態の利用者に向け介護保険サービスを提供しております。

〈取り組んだ課題〉

H18 年 10 月 1 日以降、養護老人ホームの役割のひとつとして「自立支援」という考え方が導入されました。

ADL 等日常生活において自立している利用者が多い当施設では、現在まで意図せず以下のような自立支援に類する活動をしてきました。

- ・喫茶のお手伝い(喫茶やすらぎ)
- ・庭木の手入れ
- ・自治会活動(役員会議、行事運営、自治会費管理)等

しかし、これらはあくまで既存の活動であり、自立支援という考え方に基づいての活動ではありません。また、この自立支援という言葉は往々にして施設都合の自立支援(出来ることは自分でやりましょう)と捕らえられてしまう場合もあります。養護老人ホームにとっての自立支援とはいったい何なのか。

〈具体的な取り組み〉

自立支援＝自己実現支援という考え方のもと、利用者ボランティアサークルを発足しました。

- ・ボランティアサークル準備委員会の発足
- ・参加者募集
- ・具体的活動(洗濯ものたたみ、シーツたたみ)
- ・ボランティアサークル参加者に活動アンケートを実施
- ・アンケート結果に対するモニタリング

〈活動の成果と評価〉

結果

- ・役割感、存在意義の獲得
- ・仲間意識の発生
- ・生活の充実感

〈今後の課題〉

施設主体の自立支援ではなく、利用者主体の自立支援でなくてはならない。

自立支援＝自己実現支援という考え方で、既存の活動についても捉えなおしていく。

サークルをより活動しやすくするために、支援の一環としての自立支援とは。